

令和2年第11回加須市教育委員会定例会会議録																							
招集の日時	令和2年11月13日 午後1時30分																						
招集の場所	第1委員会室 ※新型コロナウイルス感染症対策のため会場変更																						
開会の日時	令和2年11月13日 午後1時35分																						
閉会の日時	令和2年11月13日 午後4時35分																						
出席者の氏名	渡邊義昭教育長、福田孝夫教育長職務代理者、小林義之委員、遠藤康江委員、猪股富美子委員、秋山哲也委員																						
欠席者の氏名																							
会議に出席した者の氏名	江原千裕生涯学習部長、杉田 勝学校教育部長、小泉雅広こども局長兼福祉事務所長兼学校教育部長理事、大原英明生涯学習部副部長兼教育総務課長、石川達雄生涯学習部参事兼スポーツ振興課長、細田周作生涯学習課長、増田英二図書館課長、刑部香織学校教育課長、高貫 貢学校給食課長、塩崎昇一こども局副局長兼子育て支援課長兼学校教育部参事、野本朋子保育幼稚園課長兼学校教育部主席専門員、野本孝弘文化・学習センター副参事、松井善人スポーツ振興課主幹、齋藤 誠学校教育課主幹兼指導主事、武井由加里教育総務課主幹																						
会期日程	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>第1</td> <td>会議時間の決定</td> </tr> <tr> <td>第2</td> <td>会議録署名委員の指名</td> </tr> <tr> <td>第3</td> <td>前回会議録の承認</td> </tr> <tr> <td>第4</td> <td>第53号議案 令和2年度加須市一般会計補正予算(第8号)のうち教育費について</td> </tr> <tr> <td>第5</td> <td>第54号議案 加須市立集会所運営委員会委員の委嘱について</td> </tr> <tr> <td>第6</td> <td>第55号議案 加須市文化財保護審議会委員の委嘱について</td> </tr> <tr> <td>第7</td> <td>協議事項 第2次加須市人づくりプラン(素案)について</td> </tr> <tr> <td>第8</td> <td>協議事項 加須市学校教育推進計画(素案)について</td> </tr> <tr> <td>第9</td> <td>協議事項 第3次加須市生涯学習推進計画(素案)について</td> </tr> <tr> <td>第10</td> <td>協議事項 第2期加須市スポーツ・レクリエーション推進計画(素案)について</td> </tr> <tr> <td>第11</td> <td>その他</td> </tr> </tbody> </table>	第1	会議時間の決定	第2	会議録署名委員の指名	第3	前回会議録の承認	第4	第53号議案 令和2年度加須市一般会計補正予算(第8号)のうち教育費について	第5	第54号議案 加須市立集会所運営委員会委員の委嘱について	第6	第55号議案 加須市文化財保護審議会委員の委嘱について	第7	協議事項 第2次加須市人づくりプラン(素案)について	第8	協議事項 加須市学校教育推進計画(素案)について	第9	協議事項 第3次加須市生涯学習推進計画(素案)について	第10	協議事項 第2期加須市スポーツ・レクリエーション推進計画(素案)について	第11	その他
第1	会議時間の決定																						
第2	会議録署名委員の指名																						
第3	前回会議録の承認																						
第4	第53号議案 令和2年度加須市一般会計補正予算(第8号)のうち教育費について																						
第5	第54号議案 加須市立集会所運営委員会委員の委嘱について																						
第6	第55号議案 加須市文化財保護審議会委員の委嘱について																						
第7	協議事項 第2次加須市人づくりプラン(素案)について																						
第8	協議事項 加須市学校教育推進計画(素案)について																						
第9	協議事項 第3次加須市生涯学習推進計画(素案)について																						
第10	協議事項 第2期加須市スポーツ・レクリエーション推進計画(素案)について																						
第11	その他																						
発言者	会議の概要																						
渡邊教育長	<p>ただいまから、令和2年第11回加須市教育委員会定例会を開会します。会議時間の短縮のため、事務局は各資料の説明について、簡潔明瞭に行ってください。</p> <p>本日の議事日程につきましては、別紙のとおりでございますので、ご了承願います。</p> <p>本日は、傍聴希望者はございません。</p> <p>【日程第1 会議時間の決定】</p>																						

渡邊教育長

日程第1 会議時間の決定についてでございますが、本日の日程がすべて終了するまでとすることよろしいでしょうか。
(異議なしとの声あり)

それでは、会議時間は、本日の日程がすべて終了するまでといたします。

渡邊教育長

【日程第2 会議録署名委員の指名】
日程第2 会議録署名委員の指名について、今回は遠藤委員にお願いいたします。

遠藤委員

はい。

渡邊教育長

【日程第3 前回会議録の承認】
日程第3 前回会議録の承認についてですが、令和2年の第10回定例会の会議録については、事前にお配りしてございます。
前回会議録の内容について何かご質疑、ご意見等ございますか。

渡邊教育長

ご質疑、ご意見等ないようですので、前回会議録については承認ということでよろしいでしょうか。
(異議なしとの声あり)

それでは、承認とします。

渡邊教育長

日程第4 第53号議案「令和2年度加須市一般会計補正予算(第8号)のうち教育費について」から 日程第6 第55号議案「加須市文化財保護審議会委員の委嘱について」までは、加須市議会に議案として提案予定の案件及び個人情報を含む案件であることから、加須市情報公開条例第7条第1項第2号及び第4号の非公開情報にあたります。

よって、日程第4 第53号議案から 日程第6 第55号議案までは、加須市教育委員会会議規則第3条第5項に基づき、会議を非公開とすることよろしいですか。
(よろしい との声あり)

渡邊教育長

なお、日程第4は、加須市議会に議案として提案された日以後は、非公開とする必要はございませんので、会議録につきましては、当日は非公開で行ったことを付記した上で公開する、ということよろしいですか。
(よろしい との声あり)

渡邊教育長

それでは、これより会議を非公開といたします。

※「日程第4 第53号議案」は、令和2年11月25日開会の令和2年第4回加須市議会定例会開会前であったことから非公開で実施。

【日程第4 第53号議案「令和2年度加須市一般会計補正予算(第8号)のうち教育費について」】

渡邊教育長	<p>第53号議案「令和2年度加須市一般会計補正予算(第8号)のうち教育費について」を議題といたします。 事務局より説明させます。</p>
大原生涯学習部副部長兼教育総務課長	<p>令和2年度加須市一般会計補正予算(第8号)のうち教育費を別紙のとおりとすることについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき審議願いたく、この案を提出するものであります。 (資料に基づき説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員人件費 ・小学校施設整備事業 ・中学校管理運営事業 ・債務負担行為補正 <p>よろしくご審議の程お願いいたします。</p>
渡邊教育長	<p>以上説明がありました。 ご質疑、ご意見等ございますか。</p>
福田教育長職務代理者	<p>加須平成中の生徒用ロッカーについてですが、平成中も開校して20数年たっていますので、備品や設備も老朽化しているのではないかと思います。 平成中の備品は特注のものが多かったと聞いております。今回の予算を見ますと、1台が4万7千円ということですが、これは一般的な価格なのでしょうか。それとも、特注のロッカーなのでしょうか。</p>
大原生涯学習部副部長兼教育総務課長	<p>今回購入するロッカーは、市販されている一般的なスチール製のものです。 委員さんお話のとおり、平成中学校は教科教室型という特色のある学校として開校しております。生徒用ロッカーのほか、椅子や机など、他の学校とは異なるものになっておりますが、修繕できるものは修繕し、修繕が難しい場合は一般に市販されているものを購入するという対応しているところでございます。</p>
渡邊教育長	<p>補足しますと、生徒用ロッカーについては、市販のロッカーに特注で扉に色をつけましたが、値段は市販の場合と同じ金額で購入していると思います。現在は、色は考慮せず、市販のものを購入しているという状況です。 ほかにごございますか。</p>
猪股委員	<p>債務負担行為の中に外国語指導助手派遣委託とありますが、これは、個人に委託しているのでしょうか。それとも、派遣を専門とする会社に委託しているのでしょうか。</p>
齋藤学校教育課主幹兼指導主事	<p>外国語指導助手の派遣業者への委託となっております。</p>
猪股委員	<p>債務負担行為には他にも業務委託に関するものが何件かありますが、こうした委託について、年度内に来年度の契約をする場合に、業者を変えたりする場合と</p>

	<p>というのはどのようになるのでしょうか。</p>
大原生涯学習部副部長兼教育総務課長	<p>業者の選定ですが、基本的には一般競争入札をしまして、請負業者を決定します。</p> <p>特殊な内容で、例えば、他にそうした業務をやっている会社が無いというような場合や、その業者でないと現在設置している機械の扱いができないというような場合は、特定の業者と契約する形になってまいります。請負業者は基本的に一般競争入札で決定いたします。</p>
猪股委員	<p>教育委員会と取引のある業者が固定化されているというような、特定の業者に偏っているということはないか、ちょっと気になりましたので伺いました。</p>
渡邊教育長	<p>市の契約は、基本的には一般競争入札です。ALTの委託につきましても、毎年大体5社ぐらいを選定して入札を行います。その結果、前年度と同じ会社になることもあれば、違う会社になるということもあります。</p>
渡邊教育長	<p>他にございますか。</p> <p>それでは、ご質疑、ご意見等ないようですので、お諮りします。</p> <p>第53号議案「令和2年度加須市一般会計補正予算（第8号）のうち教育費について」は、原案のとおり可決ということによろしいですか。</p> <p>（異議なしとの声あり）</p> <p>それでは、原案可決とします。</p> <p>（全員賛成により原案可決）</p> <p>【日程第5 第54号議案「加須市立集会所運営委員会委員の委嘱について」】</p> <p>（全員賛成により原案可決）</p> <p>【日程第6 第55号議案「加須市文化財保護審議会委員の委嘱について」】</p> <p>（全員賛成により原案可決）</p>
渡邊教育長	<p>これより会議の非公開を解きます。</p> <p>【日程第7 協議事項「第2次加須市人づくりプラン（素案）について」】</p>
渡邊教育長	<p>日程第7 協議事項「第2次加須市人づくりプラン（素案）について」、協議します。</p> <p>事務局より説明させます。</p> <p>（各資料に基づき、担当から説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2次加須市総合振興計画（素案） ・加須市学校教育推進計画の骨子（案）について
江原生涯学習部長 大原生涯学習部副	

部長兼教育総務課長

渡邊教育長

以上説明がありました。ご質疑、ご意見等ございますか。

遠藤委員

基本目標1の説明文に読書活動を追加していただいておりますが、6ページの項目の方には読書活動がありません。基本目標6には読書活動についての項目がありますが、そちらは生涯学習における読書活動になると思います。

総合振興計画や学校教育推進計画には学校教育における読書活動が位置付けられていますが、人づくりプランにはありません。基本目標1の項目にも読書活動を設定する必要があるのではないのでしょうか。

江原生涯学習部長

委員さんおっしゃるとおり、読書活動の推進については、主として基本目標6の生涯学習のところで明記しております。

その他、特に子供たち、児童生徒の読書活動も大事だということで、基本目標1の方にも文言を加えさせていただきました。目標1の体系の中には読書活動という単語はございませんが、学力向上の点からも読書活動が重要だという視点から、体系の二つ目である「一人ひとりを伸ばす教育の推進」、この中に読書活動に関する取組も位置付けております。

A3の事業群の資料の方を見ていただきますと、「一人ひとりを伸ばす教育の推進」、ここが学力向上に対する取組のメインの部分になりますが、その中に「ブックトークおはなし会開催事業」という形で新たに加えております。こうした形で具体的な事業を位置付けまして、子供たちの読書活動進めていきますという意味を込めております。

委員さんご指摘のとおり、この6ページのところで読めないという点は検討したいと思います。

遠藤委員

総合振興計画の「第1項 生涯学習の推進・芸術文化の振興」という中に、電子書籍の導入という記述がありますが、具体的に何年度から導入するか、計画に盛り込まれているのでしょうか。

増田図書館課長

総合振興計画は10年後の加須市をイメージした計画でございます。電子書籍について、具体的に何年度に導入するというような詳細は決まっておりませんが、いずれにしても時代の要請に伴いまして、電子書籍の導入も考えていかなければならないということで書かせていただいております。

江原生涯学習部長

総合振興計画は、基本構想が10年、基本計画が5年ということでございます。ご覧いただいているページは、前期基本計画ですので、ここに書いてあるものは今後5年の中でやっていかななくてはいけないという意味がございます。5年の中で導入について検討し、進めていくというものでございます。

渡邊教育長

電子書籍には2種類あると思います。DVDやCDなどに保存されているデータと、図書館のサーバーなどから、ネットを通して取り出せるような形でのデータとの2種類ですね。

新聞報道などを見てみますと、この電子書籍については、著作権の課題があり簡単にはいかないようです。法整備やシステムの検討等を国が始めたということ

ですので、それらを待っているいろいろな対策が取られてくるかなと思っています。
図書館での貸出用のDVD、これは個人が買うのに比べるとものすごく高いんですよね。

増田図書館課長

はい。一般の人がDVDを買うときは、5千円から高いもので7千円くらいかと思いますが、図書館で買う場合は、著作権の関係で、著作者への補償金を上乗せした上で購入しております。その補償金を上乗せしないと一般への貸出は不可となっていますので、どこの図書館でも個人で購入するよりも高い金額、昨年度の平均では、1万3、4千円ぐらいだったと思いますが、そういった形で購入しております。館内閲覧のみという買い方や館外への貸出もOKという買い方など、種類によって金額も変わってきます。

遠藤委員

私は図書館が大好きで、電子書籍より紙の方が好きなので、できればあまり急激に変わって欲しくないなど。図書館も縮小するというような話も出ていますので、できるだけ長く今の図書館全館を運営していただきたいという気持ちがありまして、質問させていただきました。

渡邊教育長

他にございますか。

猪股委員

総合振興計画について、質問が2点あります。

前回は触れさせていただいたSDGsについて、このような表記は本当にすばらしいなと思いますが、知らない人には全くなじみのない分野です。例えば、総合振興計画自体がSDGsの視点からどういう意義を持っているのかというような、市民にわかりやすく説明している部分はあるのでしょうか。

KPIが事業評価をする上でとても大事になってきます。具体的な評価指標として何を設定するかによって、効果や成果が変わってしまいます。今、作業をしているということですが、どういった視点でこのKPIの指標を検討しているのでしょうか。

江原生涯学習部長

1点目のSDGsの推進が総合振興計画の中でどのように説明されているのかについてですが、前期基本計画の前段のところの説明をしております。

まず、SDGsそのものについての説明があり、そのあとに「施策ごとのSDGsにおける17の国際目標の対応一覧」という形で、全ての事業それぞれがSDGsのどの目標に該当しているかを一覧表にしてわかりやすく示しております。

2点目のKPIの設定については、これから検討する予定です。

現在、加須市では700近い事業がありますが、この700事業を総合振興計画の基本目標とその事業群にそれぞれ位置付けしまして、その事業群を代表する事業、施策を代表する事業の中から、大事な指標をKPIにしていくという作業予定になっております。

猪股委員

そうした優先順位の高い事業を選んでいくときに、総合振興計画としてどういう視点を優先するべきか、指標を選ぶときの全体的な方針、計画全体としてこういうことを優先して選んでくださいというような方針はないのでしょうか。

江原生涯学習部長

それぞれの所管課でこれを設定したいというふうに進めていくのか、第2次総合振興計画としてこういう視点でKPIを選ぶという方針が示されるのか、本部

会議の中でもこれから協議する状況です。

猪股委員

それぞれの課ごとに優先順位を個別につけていきますと、市の総合計画としての統一性、メッセージ性がなくなってしまうと思いますので、課ごとではなく、やはり全体的なコンセプトを持った上でK P Iを決めていただければと思います。

杉田学校教育部長

ご提言ありがとうございます。

人づくりプランの中の部分的な計画として、小学校1年から中学校3年生までの9年間に絞った学校教育推進計画、加須市子どものびのびプランを現在作成しております。このあと協議もいただくわけですが、その中でやはり悩んだのは評価指標です。

委員さんおっしゃるとおり、指標の設定はとても大切でして、今日お示したのびのびプランの素案では、全国学力学習調査、それから埼玉県の学力学習状況調査から指標を設定いたしました。これらの調査には学力を測る部分と子供の生活等に関するアンケートの部分とがありますが、毎年定点で行っておりますので、今まで、現在、これからといった動き、また、他市、他県との比較という点でも本市の状況が見えるだろうと考えております。

これは逃げないでやっていかなくてはいけないものだろうということで、総合振興計画の方でも指標として設定したいと思っております。

小泉こども局長

先ほど生涯学習部長からも説明がありましたが、700くらいの事業があり、それぞれの課が所管する事業について、該当する事業群のところに落とし込んでいくこととなります。主としてはこの事業群に、従としてはこの事業群にというふうに、一つの事業が複数の事業群に該当する場合もございます。

そうしたたくさんの事業の中から特に重要なものをK P Iとして選んでいくわけですが、特に目標値の設定というのが非常に悩ましいところでございます。

例えば、第1次総合振興計画では、少子化という課題の中で、合計特殊出生率を指標として掲げていました。30年度の数値をみますと、国、県よりも低い状況です。いろいろな施策を実施して努力はしておりますが、結果的に目標まで達しなかったということで、少子化の関係、子供に関する施策について、第1次計画の中では低い評価となってしまいました。

これは、予め達成できるかできないかを考えて目標を設定するというものではございません。目標を設定し、それに向かって取り組んでいくということです。そうした中で、目標をどう設定するかというのは非常に悩ましいところでもあるということをつけ加えさせていただきます。

猪股委員

よく理解できました。ありがとうございます。

K P Iについて、やはり教育の分野は他の分野と比べて、量と質との評価バランスがとても難しいということがあります。特に教育委員会所管のものは本当に大変な作業を伴うということ、それから、今おっしゃっていただいたような大変な勇気も要するという事は重々承知しておりますので、よろしくお願ひします。

小林委員

SDG sの関連で、先ほど部長さんから説明していただきました。計画の別のところで説明されている、リストアップされているということでしたが、この資料を見る限りでは、私はわかりにくかったです。

SDGsの対象は17項目あります、各施策について、捉え方、考え方によっては他の項目も関係しているのではないかと、あえて3つとか4つの項目に絞る必要があるのかなという感じがしました。

例えば、スポーツ・レクリエーションの振興について、現在の案では3番、4番、5番が対象になっていますが、このほかにも「住み続けられるまちづくり」という11番の項目、これも大事な視点として入っていると思います。該当するものをリストアップするということは丁寧かもしれませんが、かえって難しくしているなという印象がありました。

それから、教育委員会以外のところになりますので、ここでコメントするのが適切かどうかはわからないのですが、少しだけ申し上げます。

1ページ目の「災害に強いまちをつくる」というところだと、私の一番の関心事でもある「防災」という視点で考えますと、大事なところが抜けていうような印象を受けました。

また、2ページ目の「地域の絆で協働のまちをつくる」というところだと、実際に自分が携わっている関係からしますと、自治会組織の強化という観点、例えば北川辺の地域によっては3割ぐらいしか自治会に加入していないというような実態を踏まえると、重要な自治会組織の強化という観点が抜けているなというふうな思いがしました。

教育の関係で申し上げます。

4ページの学校教育の充実と家庭・地域のところになりますが、具体的な施策として大変重要な内容がリストアップされています。また、関連する計画として、学校教育推進計画が挙げられていて、その中で「知・徳・体のバランスを兼ね備えた力を育む」ということが大変強く打ち出されています。

学校教育ということで申し上げますと、授業以外の、例えばサークル活動等とおして、子供たちは先生方から、いわゆる実行力や協調性、コミュニケーション力、考察力といった点についての教育も実際に受けているわけですので、そういったところも重要な内容として表に出しているのではないだろうか。そうしたところで先生方も苦勞されているのだらうと思いますし、現実には、知・徳・体に収束する以上のことをやっているのではないかと、そういうことを感じました。

江原生涯学習部長

私のほうから、3つご説明させていただきます。

基本計画のほうで、関連するSDGsのマークを示しておりますけれども、これがすべてということではなくて、まだまだ関連するものはあると思いますので、見直して追加していきたいと思えます。

また、この表記についても、より良いものがあるかどうか、政策調整課の方にも相談してみたいと思えます。

それから、防災が弱いのではないかとのご意見いただきました。

体系としましては、「災害に強いまちをつくる」というところがメインになってきますが、その中で、加須市では「水害対策の強化」と「震災等対策の強化」ということで、水害と震災を別の施策に分けて、さらに具体的な事業を位置付けております。それぞれの施策ごとに見開きページを作成しておりますので、その中で防災についても記述しております。

それから、自治協力団体についてですが、加須市は協働のまちづくりということで、自治協力団体をはじめ様々な団体との協働を進めております。総合振興計画の一つの特徴としまして、それぞれの施策のページの中に「協働のまちづくり」として、どんな形での協働をそれぞれの施策でやっていくかというのを明らかに

しております。

特に、自治協力団体につきましては、まちづくりの最大のパートナーと考えております。体系としましては、「地域の絆で協働のまちをつくる」に位置付けております「市民と行政との協働」、こちらの施策の中で、自治協力団体をはじめとした市民との協働について記述をしております。

小林委員

地域性もあるとは思いますが、実際問題として、今一番の課題は自治会の加入率が非常に低いということなんです。

例えば民生委員さんが活動する場合、あるいは、進んで防災のための仕組みをつくろうと活動する人がいた場合も、結局そこがネックになってしまって、できなかつたり、なかなか進まなかつたりということがあります。

また、自治会に入れない理由として、高齢の一人住まいで、役回りが大変だというようなこともあります。

地元でまちづくりの会というのをやっていますが、いろいろな案件に関係するところが自治会なんです。自治会との協働という言葉はわかりますが、どうしたら加入率を上げられるかといったところが、実は一番本来かゆいところではないかなという気がしましたので申し上げました。

江原生涯学習部長

総合振興計画審議会の委員さんからも自治協力団体についてご意見をたくさんいただいております。ある委員さんからは、自治協力団体の会長、区長、町内会長をやっていると、いろんなことを頼まれて負担が大きいので負担を減らして欲しいといった意見もございました。

市でも見直しをしております。負担を減らせるものは減らしていく、ただし、重要なもの、例えば民生委員の推薦や共助に関するような重要なものは、どうしても自治協力団体をお願いしなくてはならないということで整理を進めております。負担を軽くしながら、重要なものは自治協力団体をお願いするという形を進めているところでございます。

杉田学校教育部長

ご提言ありがとうございます。

協働という視点で、教育がどういうふうな形で関わっているか、今回の総振で心掛けていることがございます。それは、できることは、子供といえどもやっていくという視点でございます。これまで、子供は守られる立場ということで、一面的な見方しかしていなかったわけですが、できることをやってきましょうということです。

実際に、平成中の子供たちが花崎駅前を、また、昭和中の子供たちが夏祭りの後や12月のクリーンサンタという形で加須駅周辺を、それぞれの地域の美化環境活動ということで学校を挙げて取り組んでいます。

また、学んだ学習成果の一端を地域に返すということでは、平成中の子供たちが公民館でパソコン教室の講師になって、地域の先輩方にキーボードのたたき方を教えるということもございました。

地域の方から教えていただいたものは当然子供たちのためになるわけですが、そこで身についた学びの力については、小さなことでも地域に還元していこうということで、今回の計画では、子供たちも1住民1市民として地域に関わっていくという考え方を出していこうと考えております。

地域の防災訓練におきましても、小学生も中学生もできることについては、大人たちに交じって場面的に参加していく。小さいことではあります、そのよ

うなことで動き始めております。昨年度の例としては、北川辺西小学校では、そういった光景がございましたので、補足をさせていただきます。

渡邊教育長

総合振興計画につきましては、教育委員会に関することも含めた加須市全体の計画でございます。ですから、全部長が本部会議で集まり、市長が中心になって協議を進めて策定しております。

個別に見ていきますと細かな点では抜けているものがあるとお感じになるようなところもあるかもしれませんが、市全体を大まかに網羅している計画書だとご理解いただければと思います。

それでは、時間もありますので、次に移らせていただきます。

【日程第8 協議事項「加須市学校教育推進計画（素案）について」】

渡邊教育長

日程第8 協議事項「加須市学校教育推進計画（素案）について」、協議します。事務局より説明させます。

杉田学校教育部長

(資料に基づき、説明)

・加須市学校教育推進計画 ～加須市子どものびのびプラン～ (案)

渡邊教育長

以上説明がありました。ご質疑、ご意見等ございますか。

小林委員

とてもよくまとまっていると思います。教育というのは大事なものだということ、特に教職員の方の仕事の重要性が伝わってくるような感じがしました。

3点申し上げます。

1つ目は、知・徳・体の他にも大事なこととして「行動力」があると思います。

例えば生徒会長や応援団長をやるというようなことで養成される、実行力や協調性やコミュニケーション等々です。実際にそういう活動をやっているわけですから、それを表に出してもいいのではないのでしょうか。

2つ目は、言いにくいところもありますが、いじめの問題です。学校に通っている間の対応としてはこれでいいのかもしれませんが、このいじめの問題は、特に社会に出てからも続いているのが現実です。

いじめるといふ趣旨でやることは正しいことだと思います。ただ、どう表現するかが難しいのですが、生きていく中で誰も経験があると思うのですが、いじめのようなことは避けられない。ですから、いじめに負けない力をつけるということが必要なのではないのでしょうか。

3つ目は、グローバル化です。外国がますます近くなっている中で、もう一步踏み出した内容、表現をしてもいいのではないだろうか。外国は夢を育むという中でも最たるものの一つではないかと思います。その具体化をもう少し思い切って表現してもいいのではないのでしょうか。

全体としては、非常にわかりやすかったです。

杉田学校教育部長

ご指摘いただいた点については検討したいと思います。

1点、いじめについてですが、資料にもありますが、すべてのいじめが解消したというわけではございません。先ほど「いじめに負けない力」というお話がありましたが、いじめそのものは、やってはいけないことです。まだ解消していない案件は解消に向けて、今も実際に動いております。学校も本当にエネルギーを注いで、頑張っているということは補足をさせていただきたいと思います。

渡邊教育長

調査における「いじめの解消」というのは、解決をしてから3ヶ月間事案が発生していないということが条件になりますので、少なくとも3ヶ月以上見守ったうえで、はじめて解消となります。したがって、調査の段階ではこうした未解消というような数値が出てしまうということでございます。

それから、「いじめに負けない」ということについて、もちろんそうしたこともやっていかなければならないと思っておりますが、今、学校現場では「いじめをなくす」「いじめをさせない」ということを目標にしております。「いじめに負けない」というのは、「いじめがあっても、負けない」ということになってまいりますので、設定しにくいところが正直でございます。

これからいろいろな対策をとりながら、子供一人一人を伸ばしていかなくてはいけないと思います。精神的に弱い子供たちが増えてきていることは事実かなと思います。それと同時に、保護者の指導や対応も含めて課題なのかなと思っております。

小林委員

よく学校・家庭・地域で…ということをおっしゃいますが、これはどちらかというと家庭が中心になるべきものだろうと。ただ、学校が家庭を教育するというのはなかなか難しいだろうと思っております。親の背中を見て育つといいますが、これは、家庭教育が中心になることだろうと思っております。

遠藤委員

学校給食の関係で、給食の食べ残しの量が2.4%となっておりますが、この数字は多いのでしょうか、少ないのでしょうか。

高貫学校給食課長

食べ残しの量についてですが、現在は残菜の脱水をしておりますので、量として把握している数値は以前とは変わってきていると思っております。また、昔の残食率はとらえていませんので、今の数字が昔に比べてどうかというところの比較は難しいのですが、正直申し上げますと、残菜の量はメニュー次第というところがございます。

全般として、子供たちは魚などはあまり好みませんので、ハンバーグやコロッケなど、子供たちの好きなものでメニューをそろえれば、残食率はかなり低い値まで下げられます。しかし、栄養価を考えますとそれはできませんので、栄養士の方で、栄養バランスを取りながら、食べ残しが少なく、子供たちがみんな喜んで食べるようにと、献立工夫もしながら取り組み続けているところです。

猪股委員

こうした資料では、教員も子供たちもこうやって頑張れば教育環境はよくなるんだというようなトーンになってしまいがちです。先ほど小林先生がおっしゃっていたこととも近いのですが、ここに書いてあるような課題の大本、問題の本質は、家庭教育にあるのではないかというケースが本当に多いと感じています。

P T Aの家庭教育学級やいろいろな講演会など、そうしたところに出てくる人は基本的には問題ないのですが、手の届かない人のところにどのように情報発信

をしていくかということが大事だと思います。

学校での学びに向かう力を育むのは、就学前の家庭教育や保育園、幼稚園での教育です。保育園や幼稚園の先生は、現場も抱えた中で、なかなか学習の場や研修の場、時間がとれないかと思いますが、私は、学校で今問題になっている課題の早期発見、あるいは早期対応のためにも、ぜひこの就学前の子供たちの保育環境や教育環境にもっと重点を置いてもらいたい。

私自身も県の家庭教育アドバイザーとして、就学前のお母さんたちの集まりにも行っておりますが、まだその時期であったら間に合うようなケースがたくさんあります。そうしたところで、やはり就学時前の対応に力を入れていただきたいと思います。

それからもう一つ、いじめのところで、いじめの実態として、ネットやSNSなど、だんだん見えなくなっている現状がありますので、文言として「ネットいじめ」は明記すべきだと。表向きには解消しているようでも、LINEでいじめが続いているようなケースはあります。生活の課題の中でも子供とインターネットの関わりについて、積極的に発信していただければと思います。

渡邊教育長

ほかにございますか。
それでは、次に進みます。

【日程第9 協議事項「第3次加須市生涯学習推進計画（素案）について」】

渡邊教育長

日程第9 協議事項「第3次加須市生涯学習推進計画（素案）について」、協議します。
事務局より説明させます。

細田生涯学習課長

(資料に基づき、担当から説明)
・第3次加須市生涯学習推進計画（素案）

渡邊教育長

以上説明がありました。ご質疑、ご意見等ございますか。

福田教育長職務代理者

「基本目標3 文化財の保存継承による郷土愛の醸成」についてですが、昨年度、教育委員として、市のさまざまな文化財などを見させていただきました。それぞれの地域にかなりの文化財がありましたが、その管理状態、整理がどうかにならないかなと思いました。

ここに「考古資料は騎西郷土史料展示室（騎西城）を核とした施設に集約」、「水辺に関する民俗資料は北川辺郷土資料館を核とした施設に集約」ということが書かれておりますので、予算等もかかるとは思います。この基本目標に沿って進めていただきたいと思います。

細田生涯学習課長

昨年度、委員の皆さんには文化財に関する施設を見ていただきました。ご案内のとおり、大利根の旧南保育所にも資料を保管しております。また、東中学校にも文化財を保管しております。それらを中身に応じて北川辺と騎西にそれぞれ集約していくという意味でまとめてございます。委員さんおっしゃられたようなことが具体化できるよう進めてまいりたいと思っております。

渡邊教育長

集約のほかには。

細田生涯学習課長

お別れ展示という構想もございます。こういうものが加須市にありますよ、よろしければ欲しい方はどうぞお持ちくださいというような展示です。

同じものが複数あるような場合には、状態の良いものや特徴的なものに絞って保存し、他については必要な方に差し上げ、それ以外は処分するというような、こうした整理方法が可能かどうかも考えていきたいと思っております。

渡邊教育長

郷土史料を騎西城に集約すると言いましても、あちらにも展示するスペースがもうほとんどない状況です。騎西支所の南の旧不動岡高校分校舎にも大量の資料があります。ですから、場合によっては新たな場所を見つけなくてははいけない。そうしますと、教育委員会だけで簡単にできることではないというところがあります。

先ほど課長からありましたが、お別れ展示ということをやった鳥取県の町があります。加須市もそうしたことも考えていかないといけないのかなと思います。

小林委員

ちょっと教えてください。市や教育委員会では、市民から提供されたものについて、いらなくなったので処分しますといったときには、提供者にフィードバックはしないのでしょうか。

私は何回か経験があります。古い書物を寄贈したのですが、図書館の方で整理して処分されてしまった。それをたまたま図書館で働いていた人が気づいて、危うく持ち帰ったということもありました。ほかにも、提供した資料がいつの間にかなくなってしまっていたということもありました。そうであるならば、提供するを良しとはしなかった、そういう思いがあります。

せめて処分するときには提供者に連絡してもらおうということ、いろいろなやり方があるという気がしますので、お願いしたいと思います。

細田生涯学習課長

貴重なご意見をありがとうございます。

委員さんおっしゃいましたように、合併前からのものがたくさんございまして、これまでの経緯といったようなものがわからなくなってきているのが現状でございます。きちんと記録されているものもありますが、当時の担当者の記憶に依らざるを得ないといったところもあります。

いずれにしても、委員さんがおっしゃいますように、必ず歴史があるものですから、慎重に対応したいと思います。

渡邊教育長

加須地域は東中に、北川辺地域は郷土資料館に、騎西地域は騎西城に展示スペースをつくっていた。大利根地域は旧保育所に保管していた。そういう状況ですね。それらを集約し、整理していくためには、新たな場所の確保ということも含め、市全体で考えていかなくてはと思います。

ほかにございますか。

秋山委員

総合振興計画やこの生涯学習推進計画の体系を大まかに見まして、読書、私も読書は好きなんですが、そうした読書活動やまちかど美術館などについての事業はあるのですが、音楽分野でも何か体系の中に組み入れるということは。

まちかど美術館はとてもすばらしい企画だと思うのですが、例えば、まちかど音楽祭というふうに、街中のちょっとしたところで中学校の吹奏楽部や小学校の鼓笛隊などが、市民の皆さんのためにも演奏したりするというような、まちかど

音楽祭みたいなものを組み入れる計画というのはありますでしょうか。

細田生涯学習課長

現在お示ししている体系は、今ある事業を位置付けているというものです。
まちかど美術館推進事業は、商店街のセールやイベントとタイアップして、空き店舗に児童の絵を飾ることによって、それを見に来る人を呼び、商店街の活性化を図るといような事業です。
委員さんがおっしゃられたような新たなイベントについては、今後は考えていきたいと思えます。

渡邊教育長

今までは、基本目標5の青少年健全育成事業の中で、構成団体の方々が吹奏楽や歌などのコンサートをやってくださっていました。現在は、基本目標2の地域文化振興事業の方で、市民音楽祭をやっています。
音楽についても、さらに充実させるため、いろいろな形でやっていくということ考えていただければと思えます。

猪股委員

今回の基本理念は「学びから未来へつなぐ人づくり」ということですので、そういう観点から資料を見させていただきました。
市民意識調査の「学習成果について」のアンケート結果にびっくりいたしました。生涯学習の機会に積極的に参加している人は、当然、そうして得た知識や技術を活かしたいと思っているからやっているのだらうなと思いましたが、どちらでもよいという人が5割ぐらいを占めている。
社会貢献したい人は自分から市の方にアクセスしてくると思えますが、こういう待っているような人たちと言うんでしょうか、いろいろな技術や知識を身につけた人たちを、生涯学習というコミュニティの中で、知識や技術、ネットワークを好循環に回すということがポイントだと思います。こうした人たちが、積極的に市の抱える社会的課題に参画できるような仕組みづくりを、もう少し考えてもらおうと、せっかくの人材を有効に活かせるのではないかなと。
市の方でもいろいろな技術を持っている人のデータバンク、人材バンクをやっていますが、十分に活用されているのでしょうか。人材バンクのように、市民の方からやりたいと手を挙げるといのも大事ですが、こうした生涯学習の機会で生まれた人材を、より効果的に生かせるような、そういう仕組みを考えていただければなと思えます。

細田生涯学習課長

ありがとうございます。
委員お話の市民講師の登録制度ですが、生涯学習から派生して、もしくは自分の技術を持っている、そうした方には市民講師として登録をしていただき、その方たちに各種公民館講座などで講師をお願いしたりしております。
実際の生涯学習の現場では、自分のためにやっているといいますが、人前では私はちょっと、という人の方が多いという感じを受けておまして、それがアンケートにも表れているのかなというところもありますが、委員おっしゃるように幅広く広げたいと思っております。

渡邊教育長

他の人のために自分がリードしていくとか、声をかけて場を提供するとかいうような活動よりも、自分自身がその場所に行ってみんなと一緒にやるのが楽しい、そういう方が多いですね。
平成国際大学でやっているシニアいきいき大学に参加された方の感想も、みんな

なに会えたから、みんなと勉強できたからここにきてよかったという方が多いです。このグループを続けたいということでサークル化して、大学の文化祭にはみんなで協力するというのはあっても、ここで勉強したことをこれから他の人たちに伝えるために使いますという方は少ないです。

ですから猪股委員さんのおっしゃったように、それをワンステップ上げる工夫を何かするといいいですね。

ほかにございますか。

小林委員

ある人の言葉、インド哲学になるのですが、一生は大きく四つに分かれるという考え方では、人生の3番目が高齢者の始まりとされています。これだけ高齢者が増えてきたときに、生涯学習も高齢者のウエイトというのは非常に高くなるのではないだろうか。高齢者がいきなり会社を退職して、何かやろうと言ってもすぐにたどりつけるものではない。そのため、こうした推進計画でいろんな方策を出されていると思いますが、結局は、一人一人の自立が大事だと思います。

自分で好きなものは進んでやる。誰かに誘われて、うまくはまる場合もありますが、基本的には、もともとやりたかったものをやれるチャンスととらえることがいいのではないかと思います。

そういう観点からすると、成功事例といえますか、あの人はこういうふうなことを楽しんでいるということを知るチャンスがあるだけで、十分寄与するケースが多いのではないかなという気がします。

私は仕事で写真にずっと携わっていましたが、今は蝶の写真にはまっています。特別な蝶を求めて遠くに行くというわけではありません。この場所に住んでいるからこそ撮れる写真が様々ある。そして、それに関係する調べ物も本当に楽しいです。

歌が得意とか何かが得意とか、生きがい、趣味を持っている人たちの事例を知ってもらおうという場を持つだけでも、貢献するのではないかなと思います。

渡邊教育長

ほかにございますか。

それでは次に進みます。

【日程第10 協議事項「第2期加須市スポーツ・レクリエーション推進計画（素案）について」】

渡邊教育長

日程第10 協議事項「第2期加須市スポーツ・レクリエーション推進計画（素案）について」、協議します。

事務局より説明させます。

石川生涯学習部参事兼スポーツ振興課長

(資料に基づき、担当から説明)

・第2期加須市スポーツ・レクリエーション推進計画（素案）

渡邊教育長

以上説明がありました。ご質疑、ご意見等ございますか。

遠藤委員

指標の数字について、いくつか確認させてください。

「スポーツ・レクリエーション団体の加盟団体数及び加盟人数」の7年度の数値で、団体数が減っていますが、人数は増えているところ。

	<p>「障害者スポーツ交流大会の参加者数」のところで、これも7年度は人数が減っているところ。</p> <p>「加須ふじの里駅伝大会の参加チーム数及び参加者数」のところで、7年度のチーム数が減っていますが、人数は増えているところ。</p> <p>それぞれ、これはどういうことでしょうか。</p>
石川生涯学習部参事兼スポーツ振興課長	<p>スポーツ・レクリエーション団体の数値については、後ほど確認いたします。</p> <p>障がい者スポーツ交流大会の参加者数については、大会運営上、定員を設けておりますので、それを目標値にしております。</p> <p>駅伝につきましても、スタート時の混雑による危険を避けるため、定員を設けておりますので、それを目標値としています。実際には、このくらい的人数であれば大丈夫だろうという判断のもとで参加者を受け入れております。</p> <p>参加者数は各チームの選手のエントリー数をとらえた数値となります。チームによって選手数が少ない場合もありますが、MAXでその数値ということです。</p>
遠藤委員	<p>障がい者スポーツの指導者を育成していきたいということがありましたが、今現在、障がい者スポーツの指導者というのは、加須市内で何人ぐらいいらっしゃるのででしょうか。</p>
石川生涯学習部参事兼スポーツ振興課長	<p>スポーツ推進委員の中で資格を取った方が2、3人いらっしゃいます。スポーツ推進委員の活動の中で、ボッチャなどの障がい者スポーツも含めてやっていきたいと考えております。</p>
遠藤委員	<p>これからは障がい者も一緒に過ごせるようなスポーツは推進していくべきだと思います。スポーツ推進委員の方々が資格を取るということで、やはり資格がないと指導は難しいですね。そういうことも、積極的にやっていただけるとありがたいなと思いますので、よろしくお願いします。</p>
渡邊教育長	<p>推進委員の方には、本当にボランティアで、手弁当でやっていただいているような状況です。市民の協働ということでやらせていただいています。皆さんにもご協力いただければと思います。</p> <p>ほかにございますか。</p>
猪股委員	<p>今回のアンケート調査ですが、例えば、運動やスポーツをなぜしないかということの一つとっても、性別や年齢によって理由が様々だと思います。そうしたクロス分析の結果というのはないのでしょうか。</p>
石川生涯学習部参事兼スポーツ振興課長	<p>主だったところはクロス分析もしておりますが、全ての項目ではありません。</p>
猪股委員	<p>性別ごとの課題、年齢別の課題、イベントごとの課題というのは、単純に何%という数だけでは読み取れないもので、クロス分析をかけることで何をどう対応すれば課題が解決するかというところが、より具体的に分かると思います。</p> <p>もう分析が終わってしまっているかもしれませんが、現状の課題をもう少し丁寧に分析をして、それぞれの年代の課題、性別の課題、イベントごとの課題をもう</p>

少し具体的に挙げてから、目標設定、指標を考えたほうがいいのではないかなと思いました。

課題が何かをより具体的に把握できていないと簡単には数値は上がらないと思いますので、この辺りの分析をよろしくお願ひできればと思います。

渡邊教育長

この後、実際にいろんなイベントや事業を実施していくときに、そういう分析をしておくといいですね。

確かに、週3回以上運動しているかという数値を見ると、65歳以上の高齢者は運動していますが、全体の13.4%で捉えては、それは見えてこない。逆に、運動してないのは、働き盛りだという分析が出てきます。

今の猪股委員さんのご意見、参考にさせていただければと思います。

遠藤委員

「中学校での部活動における外部指導員の活用」について、現状とこれから募集するのかどうか、外部指導者の集め方について教えていただけるでしょうか。

石川生涯学習部参事兼スポーツ振興課長

指導員については、現状では学校応援団でやっていただいております。今後、学校から要望があれば、体育協会を通して競技団体にも声をかけていきたいと考えております。県の方でも指導者の登録者制度がありますので、そうしたところも活用できればと思います。

渡邊教育長

補足説明しますと、文部科学省のいう部活動指導者と加須市の外部指導員は異なります。文科省の方は、部活動を教えるために人を雇用しなさいというものです。財源の問題もありますが、それよりも、部活動指導者を雇用すると勝利至上主義が発生するということが、それは今の加須市の部活動の方針と相反するところがあります。

やはり、今、加須市でやることができるのは、教員がいるときに、技術指導などでアドバイスしていただく外部指導者だと考えております。この外部指導者については、学校応援団の一部であるという位置付けをしています。登校下校のときに、立哨したり付き添ったりしてくれる学校応援団の方、あの方たちと同じ位置付けで、学校を支援していただく方です。

ですから、部活動の指導については、あくまでも教員が責任を持つ。そして、外部指導者の方に技術的なサポートをしていただく。文科省の示すような部活動指導者を雇用して、部活動をあなたに任せますということは加須市ではやりません。それは地域のクラブ活動でやってくださいという姿勢でおります。

この事業は、学校応援団として支援していただくということで学校教育課の事業としてやっていきます。スポーツ振興課は側面から支援するというような形になります。

石川生涯学習部参事兼スポーツ振興課長

中学校ではありませんが、不動岡高校の生徒さんがスポーツクライミングをやりたいということで、市の山岳連盟に協力していただき、今日から同好会としての活動がスタートしております。そうした事例もあるということをお知らせさせていただきます。

小林委員

スポーツはやる必要があるけれども、なかなか仕事が忙しいなどの理由でできなというのが現実だと思います。そのときに、何をモチベーションにしてやるかということが大事なんじゃないかなという気がします。

	<p>私事で恐縮ですが、私は、中学の頃から毎日走っていますが、仕事をやっている時は土日しか走れませんでした。その時のモチベーションになったのは、記録です。年齢を重ねても記録が伸びることが面白くなって続けてきました。今も毎朝走っていますが、雨が続くなど何らかの事情で1週間も走らないと確実に落ちる。ですから、運動を続ける効果というのは意外とあるんだろうと思います。</p> <p>やはり運動は実践することに意味があると思いますので、できれば何かいいことをもって続けられたらいいのではないかと思います。</p>
秋山委員	<p>埼玉西武ライオンズ・レディースというチーム、これは女子野球のプロなのでしょうか。どこかの会社が運営して選手は年俵をもらっている完全なプロなのか、他に仕事をして午後に練習に来るといったような社会人野球みたいな感じなのでしょうか。</p>
石川生涯学習部参事兼スポーツ振興課長	<p>社会人のチームです。それぞれが別々の仕事をしながらクラブチームという形で活動しておりまして、監督としては、今後プロ化に向けて進めていきたいということです。</p>
秋山委員	<p>ライオンズ・レディースは社会人のチームということで、選手が生活していくのは結構大変なのかなと思います。ですから、例えば、幼稚園とか小学生3年生くらいまでの導入の時期の野球教室などを、週に1回でもやると収入に繋がってくるのではないのでしょうか。</p> <p>加須市は花咲徳栄高校もあつたりして野球が盛んですよね。男性のコーチも多いと思いますが、女性のコーチも特に導入時期の子供たちに対しては、技術的指導なども丁寧なんじゃないかなと思います。</p> <p>そういうベースボール教室のような、選手に収入が入るような事業計画はあるのでしょうか。</p>
石川生涯学習部参事兼スポーツ振興課長	<p>今年度中に立ち上がるかはわかりませんが、現在、野球教室や体操教室といった自主事業をやっていききたいということで準備をしているところです。</p>
秋山委員	<p>女性も小さい子に野球を教えることは上手だと思うので、ぜひそういうところも活用していただいて、選手たちの収入を上げるような手助けができればなと思います。</p>
渡邊教育長	<p>ほかにございますか。</p> <p>それでは、以上で協議を終了とします。</p> <p>【日程第11 その他】</p>
渡邊教育長	<p>日程第11 諸般の報告をいたします。</p> <p>まず、各部長より、順次報告をいたします。</p>
江原生涯学習部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加須市総合振興計画策定進捗状況について
杉田学校教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染対策について

小泉こども局長

渡邊教育長

- ・ 学校が保護者等に求める押印の見直し及び学校・保護者等間における連絡手段のデジタル化の推進について（資料あり）

- ・ 市立幼稚園の3歳児入園申込の状況について

特に説明を要する資料がある課長は説明をしてください。

（以下、資料に基づき説明）

細田生涯学習課長

- ・ 令和3年加須市成人式について

刑部学校教育課長

- ・ 加須市公立小中学校情報通信ネットワーク環境施設整備工事スケジュールについて

渡邊教育長

何かご質疑、ご意見等ございますか。

それでは、以上で、令和2年第11回定例会は終了となります。

次回、令和2年第12回定例会は12月18日（金）午後1時30分に開会します。これをもちまして、令和2年第11回加須市教育委員会定例会を閉会といたします。

長時間にわたり、ご苦労さまでした。

上記、会議の顛末を記載し相違ないことを証明するため、ここに署名する。

令和2年12月18日

教育長 渡邊 義 昭

委 員 遠 藤 康 江

書 記 武 井 由 加里